



新里中だより

今日は二十四節気の「冬至」。これから本格的な冬が訪れます。寒いからといって室内に閉じこもったりせず、時には外に出て運動してみましょう。また、十分な栄養と睡眠をとり、厳しい冬を乗り切っていきましょう。

(文責)校長 阿久津 泰

冬休み



有意義な年末年始を

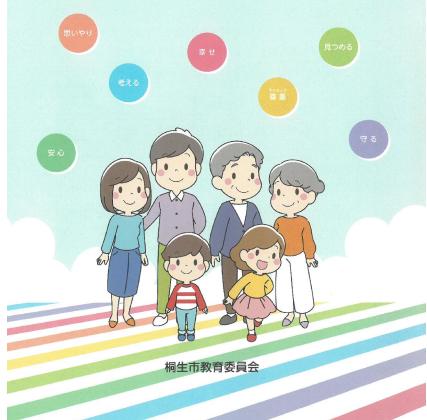
約4ヶ月間の2学期がいよいよ終了します。体育大会や合唱コンクールをはじめ、生徒会選挙や学校公開、1年生では榛名高原学校や情報モラル講習会、2年生では稲刈りや認知症サポーター養成講座や保育園労働体験、3年生では進路説明会やコミュニケーション講座や家庭科保育実習等、予定していた行事は全て順調に実施することができました。新体制となった部活動も、1・2年生は先輩から受け継いだバトンをしっかりと守って頑張っています。市や県の新人大会でも各部とも存分に力を発揮していました。体育館使用不可の状況、さらにクマ騒動等、例年ないイレギュラーな面もありましたが、保護者の皆様のご協力とご理解があって、なんとか学校教育を推進することができました。改めて感謝申しあげます。

さて、12月25日(木)から1月7日(水)まで、14日間の冬休みを迎えます。この年末年始は、意識的に規則正しい生活を心がけてほしいと思います。勉強はもちろんのこと、家の仕事の手伝い、家族や親戚との団らん等、時間を有効に活用してください。また、3年生にとっては勝負の冬休みです。私立高校の入試も始まります。焦らず着実に努力を継続し、万全な体制で試験に挑めるよう心がけほしいと思います。

人権集中学習

自分で考え、判断し、行動できるように

あなたの 人権 わたしの 人権



12月10日は「世界人権デー」です。日本でも、毎年12月4日から10日までを「人権週間」と定めています。本校では12月1日(月)の6校時に校長による人権講話をを行い、2日(火)から、各クラスで人権標語の作成や道徳の授業で人権について考えるなど、様々な取組を行いました。

これから予測困難な時代を生き抜くために、中学生のうちから人権感覚を磨くことは極めて重要です。異なる価値観をもつ他者を尊重し、偏った情報に惑わされることなく、自分の考えを持って責任ある行動をとる力が必要となります。詳しくは、配付した冊子「あなたの 人権 わたしの 人権」(桐生市教育委員会発行)に記載されています。機会があれば、ぜひご覧ください。

校庭工事・校舎工事について

2学期より体育館の大規模改修工事が行われています。同時進行で校内の様々な環境整備工事も行われています。授業や部活動に多少の制限が生じる場合もありますが、学びやすい環境づくりのための工事です。どうかご承知おきください。

<校庭整備工事>

- ・12月15日から校庭東側の工事開始。1月31日に完了予定です。
- ・2月2日から校庭西側の工事開始。3月上旬に完了予定です。
- ・工事は東西半分ずつ実施。期間中は残り半分で体育の授業や部活動を行います。

<校舎防水工事>

- ・11月28日(金)より工事開始。現在、校舎北側に足場が組み立てられています。
- ・クレーン車による屋上への荷揚げを行う際は、安全確保の徹底を図ります。
- ・工事期間中は音が出る場合もあるため、作業時間等、配慮してもらうよう要請します。

<電気工事>

- ・校舎内の電灯を蛍光灯からLED電灯に全て入れ替えます。
- ・授業に支障のない範囲で各教室の電灯入れ替え作業を順番に行っていきます。

11月20日 全校集会の校長講話より

10月頃、2人の日本の研究者がノーベル賞を受賞したニュースが届きました。2025年にノーベル賞を受賞した人は、世界でたった13人しかいません。今回は、この偉業を成し遂げた2人の研究者についてお話しします。



坂口志文先生は、ノーベル生理学・医学賞を受賞しました。私たちの体内にある免疫は、時々私たちの体を攻撃することがあります。リウマチや糖尿病がその例です。彼は、免疫の暴走にブレーキをかける「制御性T細胞」の発見に成功しました。今後、難しいとされる癌治療にも応用できる素晴らしい発見との評価を得ています。一方、北川進先生は、ノーベル化学賞を受賞しました。彼は、目に見えないほどの小さな穴を無数に持つ「MOF」と呼ばれる物質を世界で初めて開発しました。

この小さな穴によって、排出ガスから二酸化炭素を分離することができるそうです。そのため、地球温暖化対策への応用が期待されています。

この2人が共通してお話ししていたことがあります。「基礎・基本の大切さ」についてです。一見華やかな発見・開発に見られがちですが、その裏には地道な基礎・基本の研究の繰り返しがあったそうです。小・中学校からの学びの延長線上に、今回の研究があるということになります。

皆さんが普段の学習において、「わかった」「できた」という喜びが味わえるのは、小学校から今日までに培ってきた基礎・基本のおかげです。勉強だけでなく、スポーツでも楽器演奏でもそうですが、発展系・応用系の裏には、基礎・基本の確実な定着が存在します。今回、ノーベル賞の話を出しましたが、若いうちは、基礎・基本をとことん極める意気込みで励んでみてはどうでしょうか。